

1年芸術：美術（MYP 2 Art : Visual arts）【美術：1，3単位】

科目のねらい

- ・ 生涯にわたって芸術とのかかわりを楽しむ
- ・ さまざまな時代、文化、文脈にわたって芸術を探究する
- ・ 芸術とその文脈の間関係性を理解する
- ・ 芸術の創作や実演に必要なスキルを培う
- ・ アイデアを創造的に表現する
- ・ 若い芸術家としての自分の成長を振り返る

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A … 調 査	i. 探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する
	ii. 選択したムーブメントまたはジャンルの芸術作品やパフォーマンスを批評する
B … 発 展	i. 実践的にアイデアを探究し、芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす
	ii. 最終的な芸術作品やパフォーマンスについて、芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する
C … 創 作 ・ 実 演	i. 芸術作品を創作または実演する
D … 評 価	i. 自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する
	ii. 芸術家としての自分の成長を振り返る

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Art guide」に基づいています。

関連概念（美術の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
プレゼンテーション	表象	様式	視覚文化

※目標と評価規準は MYP 芸術 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 形 2. アイデンティティと 関係性 3. コミュニケーション、 整理整頓、情動、振り返り、 批判的思考、創造的思考、 転移	「暮らしの中の木の工芸」 デザインや工芸 A 表現 (1) イ(ウ) B 鑑賞 (1) ア(イ) 共通事項ア 教材 木材 木粉粘土 彫刻刀、糸鋸、ヤスリ 日本文教出版『美術1』P50.51	「レポート」【A】 木材の質感や特性、木材がもつ美しさが感情にも たらず効果、適した加工方法とは何かを調べる。そ の知識を元に自分の身の周りにある製品や作品で木 材の良さを生かした物を鑑賞したものを評価する。 「作品」【C】 完成した作品から、技能面（整形、表面処理、デザ インの再現度）を評価する。 「プロセスジャーナル」、「講評シート」【D】 プロセスジャーナルの記述から、的を得た深く詳 細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今 後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を 評価する。他への講評やプリントの記述から、多面 的な視点、相手を意識した詳細な記述、自己への転 移を評価する。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表 現力A ③主体的に学習 に取り組む態度 D 2. A4
	4	1. 美意識 2. アイデンティティと 関係性 3. コミュニケーション、 整理整頓、情動、振り返り、 批判的思考、創造的思考、 転移	「水彩で描く」 絵や彫刻で表す A 表現 (1) ア(ア) B 鑑賞 (1) ア(ア) 共通事項ア 教材 アクリル絵の具 日本文教出版『美術1』P60.61	「キャプション」【B】 作品に付する作品解説に、芸術的意図（形・配色の 意図、構図など）を具体的に記述し、音をどのように 色や形でイメージしたか説明しできているかを評価 する。 「作品」【C】 完成した作品から、技能面（構図、デザイン着色、 水彩技法、配色）を評価する 「プロセスジャーナル」、「講評シート」【D】 プロセスジャーナルの記述から、的を得た深く詳 細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今 後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を 評価する。 他への講評やプリントの記述から、多面的な視点、 相手を意識した詳細な記述、自己への転移を評価す る。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表 現力B ③主体的に学習 に取り組む態度 D 2. B9
	6	1. 文化 2. 個人的表 現と文化的 表現 3. 整理整 頓、情動、振 り返り、情 報リテラシ ー、メディ アリテラシ ー	「絵の中をよく見ると」 鑑賞 A 表現 (1) イ(イ) B 鑑賞 (1) ア(ア) 日本文教出版『美術1』P30.31	「レポート」【A】 レポートの記述から、条件に合ったテーマ設定、 調べた内容の詳細な記録、情報量を評価する。 「展覧会企画書」【B】 レポートで調べたことを元に、他者に内容を紹介 するとき、より多くの人に関心を持ってもらうため にはどのようなテーマで構想を練っているかを評価 する。	1. ②思考・判断・表 現力B ③主体的に取り 組む態度A 2. D21

※学際的な単元(IDU)として数学と美術で行う『エッシャーの技法を用いた表現』を通して、パターンがもたらす美しさに気づき、美しさの表現の多様性を学ぶ。